



第16号

平成29年3月1日

発行所

福島県立二本松工業高等学校同窓会
〒964-0937

福島県二本松市榎戸1丁目58ノ2

TEL 0243-23-0960

FAX 0243-22-7388

発行者 秋山孝雄

印刷 株式会社丸井工文社

発行部数 3,000部

福島県立二本松工業高等学校 同窓会 会報

校歌

詞 草野心平
曲 小山清茂

一日輪は 天にかがやき
阿武隈は 光る動脈
ここ榎戸の 美しき地に
日毎集る われら若人
腕組まん ともに
学ばなん ともに
真善美 ひたに求めて
ああ母校 二本松
われらは愛す われらが母校

二 新しく 時はめぐりて
安達太良に 白き雲沸く
ここ榎戸の 台地より見る
あの高きこそ われらが理想
肩あげん ともに
はげまん ともに
大いなる未来 ひたに望みて
ああ母校 二本松
われらは愛す われらが母校

CONTENTS

同窓会会長挨拶／学校長挨拶	2
くるがね祭 高宮祐樹選手講演会	3
新会員のことは／進路状況	4
学校近況	5
同窓会だより	6
同窓生コラムリレー	7
母校だより	8

■ 松工Eメールアドレス
school@nihonmatsu-th.fcs.ed.jp

■ 松工ホームページアドレス
http://www.nihonmatsu-th.fks.ed.jp/



同窓会会長挨拶



秋山 孝雄

プロフィール

昭和三十九年度機械科卒業
昭和四十年三月トヨタ自動車工業株式会社就職
昭和四十四年八月トヨタ自動車工業株式会社退職
昭和四十九年九月二本松市役所就職
平成十九年三月定年退職
平成十九年六月社団法人二本松法人会就職
平成二十三年五月退職
昭和六十年福島県野球場建設公認審判員 現在に至る
平成十六年五月松工野球部OB会設立 現在に至る
平成十九年七月行政書士資格取得 現在に至る

「チャレンジ」

早春の候、会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととご推察申し上げます。

本校は、技術者養成を目的として、昭和三十七年度に二本松工業高校が開校してから早や五十五年が経過しております。

昨年度までに一一三二四名の同窓生が国内外で活躍していることを思うと誠に頼もしい限りで、更なる飛躍することを祈っております。

平成二十三年三月に発生した東日本大震災・原発事故被災からまもなく七年目となります。目に見えない放射線と闘いながら生活することは福島県民にとって子供たちの将来が心配でなりません。

今年も我が後輩たち八名が難関の国家試験第一種電気工事士、工事担当者DD一種に合格しました。休み

を返上して課外授業を指導していただいた先生、チャレンジした生徒の皆さんにも温かい拍手を送ります。

また、全国・東北のスポーツ大会に出場した選手の皆さんには、激励会を開催し、激励金を交付したところです。

昨年の十一月五(土)・六(日)には三年に一度のくろがね祭が開催され、多くの市民・保護者の皆さんに会場頂きました。六日(日)には、昨年東京マラソンで大活躍した高宮祐樹選手の講演会も開催されました。今後の活躍をご期待し、二〇二〇年の東京オリンピックに向けて同窓会一同応援していきたいと思ひます。

間もなく年度末を迎え、入学・進学・就職とちよつぱり不安を抱えながらも大きな「目標」を掲げ、勉強に、スポーツに、職場に大いに「チャレンジ」しようではありませんか。

学校長挨拶



高梨 哲夫

プロフィール

猪苗代町生まれ。専門教科は工業(機械)。趣味は、山歩き(山菜取り)と畑仕事等。平工業高校、小高工業高校、清陵情報高校、川俣高校、福島工業高校、再び川俣高校、郡山北工業高校、勿来工業高校に勤務し、平成二十七年四月に本校に着任し現在に至る。

お陰様をもちまして、本日第五十三回卒業式を迎えることができ、新たに百三十名の卒業生を送り出すことになりました。社会に出て何より支えになるのは、同窓生の皆様の存在であります。新社会人となる後輩たちに、温かいご支援をお願いいたします。

本年度も同窓会より、東北・全国大会出場への激励や、様々な活動を通じて本校の教育環境の維持や向上に重要な役割を果たされておられますことに、心から感謝申し上げます。また昨年のくろがね祭では、同窓生でもあるヤクルト陸上部の高宮祐樹選手による記念講演会の開催にあたり、ご支援をいただきありがとうございます。

平成二十九年度入学生から機械システム科の募集定員が四十名となります。地域の皆様方から、いろいろなご意見をいただいているところで

すが、今後は二本松市や安達管内の企業と連携を密にして人材の育成に努めてまいりますので、ご協力とご支援をお願いいたします。

最後になりましたが、同窓会の皆様におかれましては本校の取り組みにご協力ならびに温かいご支援をお願いいたしますとともに、会員の方々の一層のご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶いたします。



くろがね祭

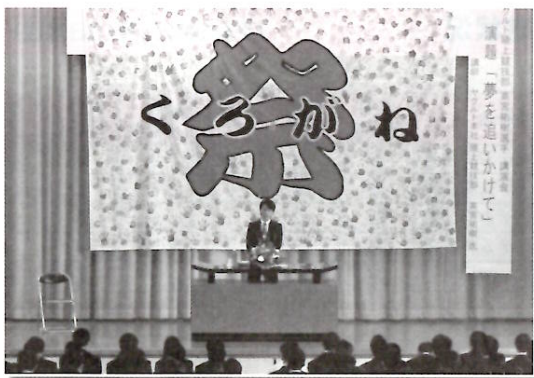
高宮祐樹選手講演会

「夢を追いかけて」

昨年十一月、本校卒業生で現在ヤクルト陸上競技部所属の高宮祐樹選手（機械システム科卒）をお招きし、「夢を追いかけて」という演題で講演会が開催されました。同窓生の方や地域の皆様にも多数ご来場いただき、盛会のうちに終わりました。

高宮選手は、実業団選手になってから疲労骨折するなどご苦労が多く、目標を見失いかれたり、自分には才能がないのではと自己嫌悪に陥ったりしたそうです。そのようなときにある言葉と出会い、人生が変わったそうです。

意識が変われば態度が変わる
態度が変われば行動が変わる
行動が変われば人格が変わる
人格が変われば運命が変わる
運命が変われば人生が変わる
この言葉を胸に秘め、日々努力を重ねてきた結果、平成二十八年の東



講演会の様子

京マラソンでは日本人トップという輝かしい成績を残されました。質疑応答の時間では、生徒たちからの多くの質問に一つ一つ丁寧に、時にはユーモアを交えて答えていただきました。講演会後は、陸上競技部員たちが様々なアドバイスをいただく機会があり、部員たちは真剣にお話を伺っていました。

高宮選手の今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。



陸上競技の生徒たちにアドバイスする高宮選手

くろがね祭風景



新会員のこぼれ

三年三組 江川 慧

この度、この栄えある二本松工業高等学校の同窓会に入会出来たことを、心から嬉しく思います。

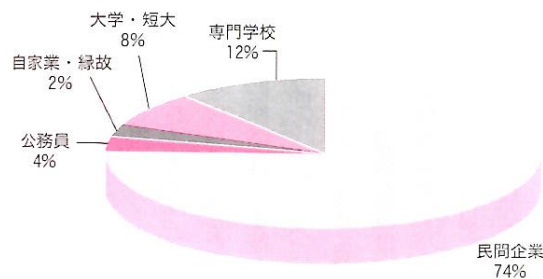
「自立」「協調」「実践」の下で、三年間過ごして学んだことがあります。それは主体性です。

一人ひとりが夢実現へ向けて日々励むこと。同じ夢を持つ仲間と切磋琢磨し合うこと。そして更なる高みを目指していくこと。これら全ては松工のよき伝統の一つだと思っています。数多くの資格取得、各種大会・コンテストでの好成績、部活動での上位大会出場など、松工のよき伝統が結実した何よりの証拠です。もちろんそこには、多くの先生方、地域の方々、そして、保護者の方々、同窓生の方々のご協力やご支援があったからだと思っています。私はそんな学校の生徒の一人として卒業できることを誇りに思います。

同窓生としての自覚を持ち、学んできたことを十二分に発揮し、邁進していきます。皆様方の温かいご指導、ご助言をよろしくお願いいたします。

平成28年度 進路内定状況

(平成29年2月13日現在)



学科名	卒業 予定者	民間 企業	公務員	縁故・ 自家業	大学・ 短大	専門 学校
機械システム科1組	31	22	0	0	4	4
機械システム科2組	32	26	1	0	1	4
情報システム科3組	31	22	1	0	5	3
都市システム科4組	36	27	2	3	0	4
合 計	130	97	5	3	10	15

就職 県内	
NOKエラストマー株式会社 東北事業所	斎藤建設工業 株式会社
トヨタ工機 株式会社	有限会社 丸忠建設工業
安達太良観光開発 株式会社	株式会社 ユートス
株式会社 CKF	グリム・エナジー 株式会社
株式会社 アマダオートメーションシステムズ	株式会社 日ビス福島製造所
株式会社 すけの住研	株式会社 クォーツリード
株式会社 ハネダユニテック 福島工場	株式会社 クリアランス
株式会社 旭洋精工	株式会社 サンデリカ郡山事業所
株式会社 菅野土建	株式会社 テラヤマ
株式会社 菅澤建設	株式会社 ナルコ 郡山
株式会社 大地開発	株式会社 機電エンジニアリング
株式会社 田口型範 二本松工場	株式会社 小松製作所 生産本部 郡山工場
株式会社 日伸	三立土建 株式会社 郡山支店
株式会社 日本理化学工業所 福島事業所	東新技建 株式会社
株式会社 本多建設	住化アグロ製造 株式会社
株式会社 野地組	日東紡績 株式会社 富久山事業センター
共伸プラスチック 株式会社	矢田工業 株式会社
高橋電機 株式会社	有限会社 山田土木
二本松シル工業 株式会社	株式会社 IIII 相馬事業所
福島サンケン 株式会社	株式会社 デンソー福島
福島ルビコン 株式会社	株式会社 太平電業社
有限会社 丸中建設	NECネットワークプロダクツ 株式会社
有限会社 菅妻プレス工業	いすゞ自動車東北 株式会社
アルス 株式会社	ノオコー建設 株式会社
アサヒロジ 株式会社	株式会社 須南電設
ソーエナジーデハイス 株式会社 郡山事業所	株式会社 日高電設
株式会社 アルプス物流	株式会社 ヤクルト本社 福島工場
株式会社 ナックス	協三工業 株式会社
株式会社 青木商店	東間工業 株式会社
株式会社 福島芝浦電子	日東紡績 株式会社 福島工場
菅野建設工業 株式会社	日特エンジニアリング 株式会社
石橋建設工業 株式会社	福島キヤノン 株式会社
川名建設工業 株式会社	福島日産自動車 株式会社
東北センコー運輸 株式会社 福島営業所	株式会社 佐々木塗装
株式会社 向山製作所	タニコー 株式会社 福島小高工場

就職 県外
トビー工業 株式会社 綾瀬製造所
日産自動車 株式会社
王子製鉄 株式会社 群馬工場
株式会社 五十嵐電機製作所
東京地下鉄 株式会社
東京電設サービス 株式会社
日野自動車 株式会社
株式会社 ネクスコ・メンテナンス東北
株式会社 ユアテック
山崎建設 株式会社 東北支店
東北電力 株式会社
東北発電工業 株式会社

進学 大学<県内>
日本大学 工学部 機械工学科
日本大学 工学部 電気電子工学科
日本大学 工学部 情報工学科
東日本国際大学経済経営学部経済経営学科

進学 短期大学<県外>
仙台青葉学院短期大学 リハビリテーション科作業療法専攻

進学 専門学校
福島県立テクノアカデミー会津 自動車整備科
福島県立テクノアカデミー郡山 建築科
福島県農業センター農業短期大学校 農業経営部水田経営学科
国際情報工科大学校自動車車体工学科
国際情報工科大学校自動車工学科
国際情報工科大学校ゲームソフト開発科
国際ビューティ・ファッション専門学校美容学科
郡山健康科学専門学校理学療法学科
ケイセンビジネス公務員カレッジ行政事務学科
花壇自動車大学校自動車科
専門学校デジタルアーツ仙台ミュージックアーティスト
東北歯科技巧専門学校
福島県高等美容美容学院美容科

公務員
自衛隊一般曹候補生
自衛官候補生
国家公務員一般技術(土木)関東甲信越
二本松商工会議所職員
警視庁 警察官Ⅲ類

平成26～28年度 年間資格・検定試験取得数

平成29年2月20日現在

国家資格			
資格名	平成26年	平成27年	平成28年
ガス溶接技能講習	63	69	
ボイラー技士講習	0	80	64
電気工事士	第1種	17	9
	第2種	16	27
危険物取扱者	乙1類	2	1
	乙2類	8	0
	乙3類	2	0
	乙4類	12	9
	乙5類	4	0
	乙6類	3	2
	丙種	1	3
消防設備士	乙4類	2	1
土木施工技術者		3	5
車両系建設機械運転技能者	小型車両	11	45
	小型クレーン	14	34
	フォークリフト	63	52
	高所作業	14	5
	締固用機械	6	15
工事担任者	主掛け	34	33
	DD1種	4	2
技能士	DD3種	15	7
	2級	1	0
品質管理検定	3級	2	4
	4級	8	3
ITパスポート		0	0

検定試験			
資格名	平成26年	平成27年	平成28年
実用英語検定	準2級	0	1
	3級	0	0
リスニング英語検定	1級	0	0
	2級	13	1
計算技術検定	3級	25	10
	2級	0	2
漢字能力検定	3級	133	137
	2級	0	0
情報技術検定	準2級	5	3
	3級	20	35
実用数学検定	4級	17	19
	5級	2	15
基礎製図検定	1級	0	3
	2級	17	8
機械製図検定	3級	17	37
	準2級	0	0
測量技術検定	3級	0	0
	準2級	0	0
パソコン利用技術検定	1級	43	35
	2級	16	35
実用英語検定	3級	73	94
	準2級	0	0
基礎製図検定	3級	0	0
	準2級	0	0
機械製図検定	3級	0	0
	準2級	0	0
測量技術検定	3級	0	0
	準2級	0	0
パソコン利用技術検定	3級	0	0
	準2級	0	0

平成28年度 各種大会成績

■野球部

- 平成28年度全国高等学校野球選手権福島大会 出場

■バレーボール部

- 平成28年度福島県高等学校新人体育大会バレーボール競技・第60回福島県高等学校バレーボール新人選手権大会 出場

■卓球部

- 平成28年度 福島県高等学校体育大会卓球競技
男子学校対抗、男子ダブルス、男子シングルス 出場
男子シングルス ベスト32 大山敦士
- 平成28年度第69回福島県総合体育大会卓球競技
男子学校対抗、少年男子個人 出場
少年男子個人 ベスト32 齋藤拓海
- 平成28年度福島県高等学校新人体育大会卓球競技
男子学校対抗、男子ダブルス、男子シングルス 出場
- 平成28年度福島県卓球選手権大会兼平成28年度全日本卓球選手権大会福島県予選会（ジュニア・ダブルスの部）
男子ダブルス、男子シングルス 出場

■ソフトテニス部

- ハイスクールジャパンカップソフトテニス2016福島県代表選考会
シングルの部 ベスト8 安喰 楓
ダブルスの部 ベスト16 安喰 楓・武藤勝幸
- 第62回福島県高等学校体育大会ソフトテニス競技
ベスト16 安喰 楓・武藤勝幸
- 平成28年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技
出場 安喰 楓・武藤勝幸

■サッカー部

- 第95回高校サッカー選手権大会 福島県大会一次予選 出場
- 平成28年度福島県新人大会サッカー競技 県大会 出場

■陸上競技部

- 第62回福島県高等学校体育大会陸上競技
男子棒高跳 出場 本間優斗
- 男子1年4×100mR 出場 渡邊諒汰・鈴木竜平・大槻純也・大内楓
- 第69回福島県総合体育大会・第71回福島県陸上競技選手権大会
男子棒高跳 出場 本間優斗
男子砲丸投 出場 本間 巧
- 第56回福島県高等学校新人体育大会陸上競技大会
男子棒高跳 出場 本間優斗
男子4×100mR 出場 渡邊諒汰・鈴木竜平・大槻純也・川名優輝

■山岳部

- 平成28年度 福島県高等学校体育大会登山大会（安達太良連峰）
優秀パーティ 齋藤千廣・渡邊匠・渡邊翔汰・八木田勇斗
- 平成28年度 第2回東北高等学校登山大会
出場 齋藤千廣・渡邊匠・渡邊翔汰・八木田勇斗
- 平成28年度 福島県高等学校新人体育大会登山大会
出場 渡邊翔汰・八木田勇斗・遠藤雅也・佐藤明之伸・早川栄也

■剣道部

- 第62回福島県高等学校体育大会剣道競技 男子団体戦 出場
- 平成28年度福島県高等学校新人体育大会剣道競技
男子団体戦 出場

■弓道部

- 第62回福島県高等学校体育大会弓道競技
男子個人 決勝進出 鹿又大貴
出場 渡邊直樹
- 平成28年度福島県弓道新人大会
男子個人、男子団体 出場

■テニス部

- 第62回福島県高等学校体育大会テニス競技
個人戦ダブルス 出場 宗万圭祐・安齋宙来
- 第69回福島県総合体育大会テニス競技（少年男女の部）
I部男子シングルス 出場 二階堂葵・安齋宙来
I部男子ダブルス 出場 安齋宙来・二階堂葵
- 第50回福島県高等学校新人テニス選手権大会

男子団体戦（4人制） 第2位

- 第43回福島県ダブルステニス選手権大会（ジュニアの部）
男子ダブルス 出場 安齋宙来・二階堂葵

■カヌー部

- 第69回福島県総合体育大会カヌー競技会/第29回福島県カヌー競技選手権大会
少年K-1

- 第2位 佐久間楓都

- 第3位 渡辺亮太

- 第4位 渡辺俊太

- 第1位 水木勇斗

- 第2位 渋谷 流

- 第3位 竹山郁浩

- 第4位 三木翔水

- 第1位 渡辺亮太・渡辺俊太

- 第4位 佐々木空良・吉成尚紀

- 第2位 佐久間楓都・渡辺俊太・渡辺亮太・佐々木空良

- 少年高C-2 第1位 渋谷 流・竹山郁浩

- 少年高C-4 第1位 三木翔水・竹山郁浩・渋谷 流・水木勇斗

○平成28年度第19回東北高等学校カヌースプリント選手権大会

- K-2 第9位 渡辺亮太・渡辺俊太

- K-4 第8位 佐久間楓都・渡辺俊太・渡辺亮太・佐々木空良

- C-1 第9位 水木勇斗

- C-4 第4位 三木翔水・竹山郁浩・渋谷 流・水木勇斗

○第43回東北総合体育大会 カヌー競技

- K-2 第4位 渡辺亮太・佐久間楓都

- C-1 第3位 水木勇斗

- C-2 第3位 渋谷流・竹山郁浩

○平成28年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技

- K-2 出場 渡辺亮太・渡辺俊太

- C-1 出場 水木勇斗

- C-2 出場 渋谷 流・竹山郁浩

- C-4 出場 三木翔水・竹山郁浩・渋谷 流・水木勇斗

○第24回福島県高等学校新人カヌー選手権大会

- K-1 第5位 佐々木空良

- C-1 第1位 水木勇斗

- 第2位 渋谷 流

- 第3位 竹山郁浩

○平成28年度第7回東北高等学校新人カヌースプリント選手権大会

- C-1 第2位 水木勇斗

- C-2 第8位 渋谷 流・竹山郁浩

- C-4 第3位 三木翔水・竹山郁浩・渋谷 流・水木勇斗

■バドミントン部

- 平成28年度 福島県高等学校体育大会バドミントン競技
男子団体戦 出場 武藤大地・大河原隆斗・吉田夢斗・佐久間康大

- ダブルス 出場 武藤大地・佐久間康大

- シングルス 出場 武藤大地・佐久間康大

○平成28年度 福島県総合体育大会バドミントン競技

- 出場 武藤大地・佐久間康大・吉田夢斗・大河原隆斗

- 出場 武藤大地・佐久間康大

■ものづくりコンテスト

- 高校生ものづくりコンテスト2016東北大会
旋盤作業部門 第3位 渡邊晃人

- 福島県高校生ものづくりコンテスト2016
旋盤作業部門 第6位 加藤寛大

- 電気工事部門 第1位 鈴木友也

- 測量部門 第2位 斎藤主起・三浦秀人・渡邊 快

学校
近況

同窓会 だより

■ 総 会 報 告 ■

平成二十八年年度福島県立二本松工業高等学校同窓会総会が、平成二十八年七月二十三日（土）二本松市「パレスかねすい」にて、佐藤忠司前会長、高梨哲夫校長はじめ三十七名の出席のもと開催されました。議長に星光氏昭和四十二年機械科卒が指名され、終始和やかなムードの中、円滑な議事進行がされました。

高梨校長の挨拶では、在校生の活躍について紹介があり、資格取得や部活動、ものづくり大会などにおいて好成績を挙げていること、また同窓生のご尽力のお蔭で進路内定率が百パーセン

トを維持していることなどの話がありました。

次に議事に入り、第一号議案 平成二十七年事業報告、第二号議案 平成二十七年決算報告並びに会計監査報告、第三号議案 役員改選、第四号議案 平成二十八年事業計画、第五号議案 平成二十八年年度予算は全て原案通り可決されました。その他、会報委員会から他校の同窓会報についての紹介があり、本校同窓会報の今後の在り方についての話題提供もありました。

尚、役員改選におきまして四名の新理事の方が承認されました。多くの平成卒業生が役員に加わっていただくことで、さらに活発な活動が期待されるところです。

総会後の懇親会は、三十四名の参加をいただき盛大に開催されました。今後は職場の先輩後輩、あるいは友人同士で声を掛け合い、是非多数の同窓生のご参加をお願いするところでございます。



■ 平成28・29年度同窓会役員 ■

役 職	氏 名	卒業 年度	科
会 長	秋 山 孝 雄	S39	機 械
副 会 長	丹 治 茂 雄	S40	機 械B
〃	渡 邊 保 夫	S41	土 木
〃	大 内 正 人	S44	電 気
〃	菊 地 清 義	S44	電 気
〃	熊 谷 勝 則	S49	土 木
会 計	高 橋 薫	S49	機 械
監 事	山 川 博 徳	S55	土 木
〃	鈴 木 新 栄	S57	機 械
〃	小 沢 源 太 郎	S60	土 木
事務局次長	高 橋 周 平	H5	電 子
理 事	齋 藤 喜 市	S41	土 木
〃	星 形 光	S42	機 械
〃	尾 形 巳 芳	S47	電 気
〃	本 田 正	S47	土 木
〃	星 盛 秋	S48	土 木
〃	崎 原 彰	S49	機 械
〃	橋 本 正 一	S51	土 木
〃	高 橋 道 夫	S53	機 械
〃	安 齋 邦 衛	S54	機 械
〃	清 水 実	S57	電 子
〃	尾 形 浩 美	S58	機 械
〃	加 藤 高 洋	S59	土 木
〃	金子 智 弘	S60	土 木
〃	朝 倉 雅 人	H6	土 木
〃	二 階 堂 卓 也	H12	機 械
〃	菅 野 健 太	H12	機 械
〃	鈴 木 朝 裕	S57	土 木
〃	佐 藤 幸 好	H9	土 木
〃	菅 野 雅 利	H9	土 木
〃	石 川 清 徳	H10	土 木

会報委員会

会報委員長	大 内 正 人
副委員長	齋 藤 喜 市
委 員	高 橋 道 夫
委 員	菅 野 健 太
委 員	鈴 木 新 栄
委 員	高 橋 周 平
委 員	佐藤信彰（事務局）
委 員	芳賀一夫（事務局）

役員選考委員会

役員選考委員長	丹 治 茂 雄
副委員長	菊 地 清 義
委 員	高 橋 周 平
委 員	星 形 光
委 員	安 齋 邦 衛
委 員	鈴木正美（事務局）
委 員	小形義元（事務局）

事務局

事務局次長	鈴 木 正 美
事 務 局	甲 賀 豊 光
事 務 局	佐 藤 信 彰
事 務 局	芳 賀 一 夫
事 務 局	小 形 義 元

■ 平成27年度 同窓会収支決算書 ■

収入額合計	1,293,106円
支出額合計	998,097円
残 額	295,009円

収 入 の 部 合計 1,293,106 円

科 目	27年度 予算額	27年度 決算額	増 減 額	備 考
会 費	740,000	730,000	△ 10,000	146人×5,000円
入 会 金	294,000	294,000	0	147人×2,000円
雑 収 入	44	60	16	預金利息等
繰 越 金	269,046	269,046	0	
計	1,303,090	1,293,106	△ 9,984	

支 出 の 部 合計 998,097 円

科 目	27年度 予算額	27年度 決算額	残 額	備考
会 議 費	250,000	147,763	102,237	役員会、同窓会総会
行 事 費	25,000	20,000	5,000	入会式
通 信 費	33,000	32,240	760	ハガキ、切手
会 報 費	170,000	144,072	25,928	会報発行
慶 弔 費	30,000	5,000	25,000	香典、その他
記念品費	150,000	133,432	16,568	卒業記念品
後 援 費	200,000	119,305	80,695	激励金、広告
事 業 費	200,000	200,957	△ 957	会報発送等
事業積立金	120,000	120,000	0	事業積立金
事 務 費	100,000	51,328	48,672	データ入力費・ロッカー・事務用品
会金返金	0	24,000	△ 24,000	退会者12名
予 備 費	25,090	0	25,090	
計	1,303,090	998,097	304,993	

歳出予算科目に過不足が生じたときは、会長にはかり各科目間において流用することが出来る。

同窓生コラムリレー



北芝電機株式会社

茂木 安久

在学時を思い出すと、やはり毎日の部活です。私はテニス部に入り校舎中庭にあるコートで汗を掻いておりました。しかし、テニスというよりは、うさぎ跳びを行った記憶の方があられるかもしれません。コートの周りを毎日5周は当たり前で、多い日には10周・15周の時もありました。

おかげで足の太さと忍耐力がつけました。テニスの成績は一度も勝てず顧問の小形先生には申し訳なかったと感じております。卒業後は北芝電機に入社しました。仕事は



平成28年度 北芝松工会総会兼新年会

主に、水力発電所の発電機の製造に携わり、東日本を中心に各地の発電所にも行きました。

東日本大震災以降の電力事情は水力・太陽光・風力といった再生可能エネルギーの考えが高まる中、クリーンで安定供給できる水力発電に携わることが出来き誇りに思っています。

話しは変わりますが、北芝電機には同窓会が幾つもあります。その中で最も大きいのが松工会で、現在の会長を務めております。

現在の会員は約70名で社員の約1割を占めており、会社の原動力となっていることを時々感じております。

最後に二本松工業高校同窓会の益々の発展を祈念して本文を閉じさせていただきます。

プロフィール

昭和55年度 機械科卒業（17期）

昭和56年度 北芝電機に入社

回転機部に配属され、主に水力発電所の発電機設計に22年間従事し、その後品証・生産技術・製造の管理職を経て現在は部長に就任し4年目となります。

「社会人として」



株式会社H-I相馬事業所

安田 充樹

私は、社会人になり三年目を迎え、高校生活で学んだことの中で、大きく分けて二つの点で活かしていると感じています。

まず一つ目は、コミュニケーションについてです。会社での生活を円滑に進めるためには、話す相手によつて言葉遣いや話し方を意識しなければいけません。そして、その会社でのコミュニケーションで苦労していない理由の一つとして、高校時代に多くの先生方や、先輩後輩との会話の中で、話し方を学ぶことが出来たからだと思っています。

次に、工業高校特有の就職に役立つ資格取得についてです。私は、会社で旋盤という機械を使って仕事をしています。そして、その国家資格普通旋盤作業の一級技能士を21歳で取得しました。21歳で取得できたの

は、高校の課外授業で二級技能士を取らせていただき、その資格で今の会社に就職することが出来たからです。

これからも学んだことを活かし、二本松工業高等学校の卒業生としての誇りを忘れず、会社に貢献出来るように頑張っていきたいと思っております。

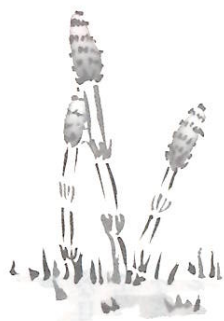
プロフィール

平成25年度機械システム科卒業
出身地…大玉村

趣味…カラオケ、スキー

資格…普通旋盤1級技能士、S

AJスキー検定1級



激励金贈呈



山岳部 東北高等学校体育大会 登山競技
ソフトテニス部 全国高等学校体育大会 ソフトテニス競技
カヌー部 第32回全国高等学校カヌースプリント選手権大会



ボウリング 第43回東北総合体育大会 ボウリング競技
機械科 第16回高等学校ものづくりコンテスト東北大会
(旋盤作業部門)



カヌー部 第71回国民体育大会 カヌー競技
ボウリング 第71回全国体育大会 ボウリング競技



カヌー部 平成28年度東北高等学校新人カヌースプリント選手権大会

競技写真



ものづくりコンテスト
(旋盤作業部門)



<山岳部>



<カヌー部>



<ソフトテニス部>



<ボウリング>

会報委員長 大内正人
副委員長 齋藤喜市
委員 高橋道夫、菅野健太
鈴木新栄、高橋周平
事務局 佐藤信彰、芳賀一夫

今号からスタートする「同窓生コラムリレー」はオンラインワンの花物語である。どうぞ期待。

さて我が手のひらを凝視すれば一つの声あり。はたして嘘の無い正直な心で我を磨き、果敢に挑戦してきたろうか。と。
小生六十五歳（六期生）、一期生は古希を迎えられた。…まさに光陰矢の如し。（吐息をひとつ）一万人を超える同窓生一人ひとりに人知れぬ苦難の挑戦があり、挫折がありそして今、人知れぬ路傍の花一輪が咲いている。

秋のくろがね祭ではマラソン高宮選手の天晴凱旋講演を聞くことができた。明確な目標を堅持し専心地道な「実力の蓄積」こそと力説した。「命を懸けて」とはこのような覚悟をいうのだなど、その直向きな生き方に、清々しい風を感じた。

編集後記